

第35回

文化祭 開幕

坂の上通信

令和五年七月十二日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

一般公開・食品バザーが復活

6月16日(金)、17日(土)にわたり、第35回文化祭が開催された。今年度のテーマは「集まる個から繋がる輪」。コロナ禍による制限が徐々に解除され、個人での活動がメイン

だった日常から、協力して活動していく日常へと変化している。みんなが協力して文化祭を成功させたい、という願いが込められた。昨年度の文化祭は3年生の保護者のみ入場できたが、今年度から

は全学年の保護者、地域の方々に限定され、一般公開が行われた。また、3年生恒例の食品バザーも4年ぶりに復活。コロナ禍をはね飛ばす勢いで、みんな力をあわせて文化祭に挑んだ。



吹奏楽部のステージのようす。迫力ある演奏で皆を圧倒した。

食べ物は即完売

全クラスが食品バザーを行った3年生。しかし、コロナや食中毒の観点から、提供される食品は、すでに調理済みのものに限定された。各クラスがそれぞれテーマと販売するものを決め、駄菓子屋さんやクラブ喫茶など、個性に富んだ様々な世界観が楽しめた。主な食品としては、1組はチョコロス、2組はアメリカンドックやチーズボール、3組はりんご飴や冷やしパイ、4組は駄菓子やラムネ、5組はクレープ、6組はピザと色々なジャンルの食べ物が出された。どのクラスも盛況で、すぐに完売し大成功に終わった。3年生は「人がたくさんきてくれて嬉しかった。」「最後の文化祭で食品バザー

出し物 力作が並ぶ

2年生はクラスTシャツも作成
1・2年生はそれぞれクラスで出し物を決めて、文化祭に挑んだ。2回目の文化祭とナール2年生は、恒例のクラスTシャツの作成がある。来年も着用するので、色やデザインなど、何度も話し合いを重ね、かなりおしゃれなもの仕上がっていた。6組は白地のTシャツを紫などで絞り染めをしていた。



各クラスの出し物のようす。カの入った出し物を作り上げた。



食事を取るお客さん(上)と、廊下の行列のようす。(下)



2年生は、「準備の時は間に合うか焦ったし、完成がぎりぎりになったので、来年はもう少しがんばりたい。」「クラスTシャツは、他のクラスとかぶってしまい、第一候補の色にはならなかったけど、できあがると思ったよりいい感じに仕上がったのでよかった。」「去年よりできたことが多かったし、先輩や後輩がいて校内の事をいろいろと知っているの、より楽しくなった」と語った。

出し物も、フェイスペイントやはてなボックスなど、例年にはない出し物もいくつかあり、来場した人たちののしませた。1年生からは、「今年も楽しかったが、来年はクラスTシャツを作ったり、再来年は食べ物販売することができたりと、どんどんできることが増えるので楽しみ」。「中学の時もコロナであまり本格的な文化祭ができなかったため、本格的な高校の文化祭を行うことができとても楽しかった。」などの声が続出した。

一方1年生は初めての文化祭。遠足以来2回目の学校行事である。どのクラスも、6限授業で放課後が長い木曜日、金曜日を中心に、一生懸命準備しており、本番にも気合を入れて臨んだ。当番のシフトや、全員の机をどう配置するか、というような細かい部分も真剣に考え



等身大永井先生と記念撮影

文化部 目録の成果を發揮

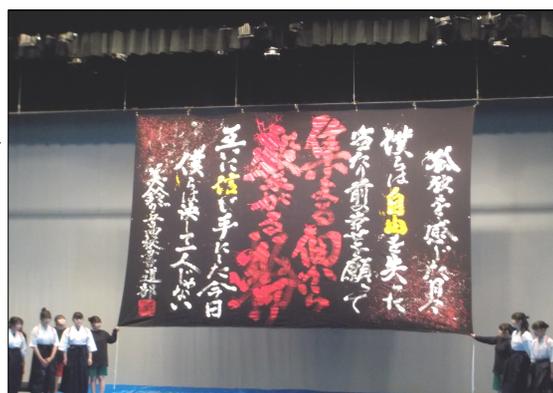
2日にわたり講堂発表

文化部は一年の活動の成果を發揮するべく、準備もすっかりし、見応えのある発表をおこなった。

1日目の講堂発表は、全校生徒が講堂に集められ生徒向けに行われた。書道部の生パフォーマンスから始まり、次々

と努力がうかがえるパフォーマンスが披露された。放送部は部活や先生へのインタビューを通して面白い動画を作成し、生徒の笑いを引き出した。演劇部は受験を控える中学生が主人公の劇を二人芝居で行った。吹奏楽部は迫力のある生演奏を披

露し、ジブリ映画や大河ドラマのテーマ曲、コンクールの曲など様々なジャンルの曲を披露し、アンコールもかかるなど大盛り上がりで終わった。2日目は一般のお客さんに向けて再度発表が行われ、大きな拍手と共に大舞台を終えた。



学校の「顔」にインタビュー



今回は、英語科の内門先生にインタビューを行った。

先生を目指したきっかけは何か？

英語が元々好きだったので留学などをして、色んな人に英語を使っ

て楽しく過ごして欲しいと思うようになったからです。

何部でしたか？

バスケットボール部に入っていました。好きな食べ物は何ですか？

ですが、島などに行った時には、いくらなどの海産物を食べます。最近の趣味は何ですか？

釣りをする事と、ドラゴンフライスのバスケットボール観戦をする事です。あまり共感してくれる人が居ないので、好きな人は教えてください！

展示発表も盛況

2日目の一般公開では、各文化部の展示発表がメイン。美術部は、各種コンクールへの応募作品や受賞作品を中心に、力作が並んだ。また、恒例の手作り缶バッジとシールの販売も人気で、完売する作品が続出した。書道部は廊下にもぎっしりと力作が並び、コンピューター部や科学部、茶道部などは、それぞれの部



活に合った体験型の出し物を行い、沢山の集客があったようだ。我々新聞文芸部も、春に実施した全校アンケートの結果を基に書いた新聞を大きく印刷し、展示を行った。生徒たちは自分の回答を思い出しながら熱心に新聞を読んでいた。各部活動の普段の活動の成果が存分に發揮された、ユーモアあふれた面白い出し物で、思い思いの表現ができた。

有志発表復活

一日目の昼食の時間帯、屋外ステージでは有志発表が行われた。コロナ禍の影響などにより去年までは実施はなかったが、出演者たちからの強い希望により復活した。

発表を行ったのは、3年生の女子で結成されたダンスユニットCracker'sと、3年3組の長船寿理さん。Cracker'sは韓国アイドルの曲に合わせたカバーダンスを披露し、長船さんはギターでの弾き語りを披露し、大

部活魂

今回紹介するのはあすなる会である。現在、一年生が13人、2年生が3人、3年生が3人で活動している。あすなる会は、ボランティア活動やアスナロダより書いたりしています。詳細を知りたい方は、美鈴が丘高校のホームページか

ら詳しく見られるので、是非見てみてください。活動日は毎週金曜日の16時から18時30分まで、ミーティングなどがあります。また、各自、土日のボランティア活動に参加しています。

部長の渡橋くんより学年で仲良く活動しているの、ボランティア文化祭での様子



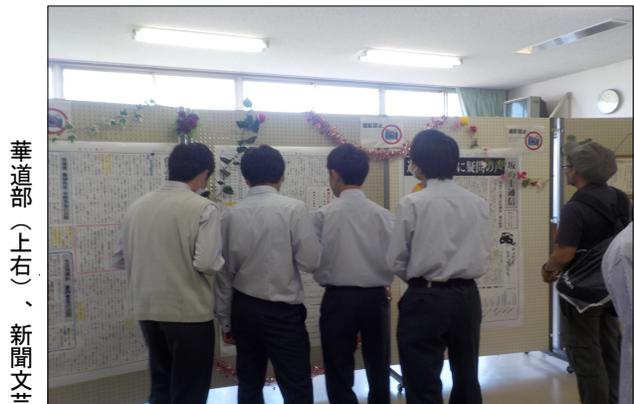
文化祭での様子

発表は大成功に終わりました。

協力して作り上げた文化祭

毎年春に行われる美鈴が丘高校の文化祭。1年生は入学したばかりで、2年生もクラス替えがあったばかりである。そんな中でも、放課後教室に残って、

男女関係なく力を合わせて様々な出し物を作り上げた。生徒会や各委員会も準備や運営に関わり、まさに「一個」が「輪」になって作り上げた文化祭となった。



華道部（上右）、新聞文芸部（上左）、美術部（下）

美・鈴・鈴・鈴

新型コロナウイルスが5類に移行して、2ヶ月弱が経った。今年の文化祭は制限はあるものの一般公開が行われたり、食品パズーが復活したりと、徐々にいつもの学校生活が帰ってきている。▼5類に移行したこと、コロナによる様々な規制も解除され、外国人観光客数も徐々に増えており、コロナ禍前の日常に戻りつつある。また、3月13日からマスクの着用も個人の判断が基本となった。ただ、マスクを外しにくい雰囲気があるのか、未だにマスクを着用している人は多い。▼梅雨が明けるといよいよ夏本番だ。マスクを着用している人も、暑い時や息苦しい時などは、マスクを外したりして無理をしないことが大切だ。一方で、コロナは完全に収束したわけではない。他県では医療機関の逼迫も嘆かれている。これまでどおり、手洗いうがいや規則正しい生活、栄養のある食事を心がけ、日々を元気に過ごしたい。

編集後記

文化祭展示に多くのご感想をありがとうございました。部員を大募集中です。興味をもった方は国語・小畑まで！

（三戸夏弥）